

資料編

目次

表1-2	年度別・出身地別学生数	（1）
表3-1	教育課程表	（2）
表3-2	授業担当コマ数	（19）
表4-6	図書館蔵書・学術雑誌・AV資料数	（25）
表5-4	資格取得の取り組み	（26）
表6-2	卒業者の進路（就職・進学・編入学）の状況	（31）
表7-1	研究業績	（34）
表8-1	教員の社会的活動状況（外部委員・公演・コンクール審査員等）	（35）
表8-2	教員の国際的活動状況（海外研修・国際会議出席等）	（39）
資料12-1	「大分県立芸術系大学構想に関する報告書」	（41）

表1-2 年度別・出身地別学生数

		平成14年度					平成15年度					平成16年度																			
		美術科	音楽科	国際文化 学科	情報コミュニ ケーション学科	計	美術科	音楽科	国際文化 学科	情報コミュニ ケーション学科	計	美術科	音楽科	国際文化 学科	情報コミュニ ケーション学科	計															
1	北海道・東北	北海道	1			1	2	0	1	1 (1)		2	0			2 (1)															
		青森					0	0				0	0			0	0														
		岩手					0	0				0	0			0	0														
		宮城					0	0				0	0			0	0														
		秋田					0	0				0	0		1	1	0														
		山形					0	0				0	0			0	0														
		福島					0	0				0	0			0	0														
	小計	1	0	0	0	2	0	1	1 (1)	0	2	0	2	1	0	3 (1)															
2	関東	東京					0	0				0	0			0	0														
		神奈川					0	0				0	0		1	1	0														
		埼玉					0	0				0	0			0	0														
		千葉					0	0				0	0			0	0														
		茨城					0	0				0	0			0	0														
		栃木					0	0				0	0		1	1	(1)														
		群馬					0	0				0	0			0	0														
		山梨					0	0				0	0			0	0														
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (1)															
3	信越	新潟					0	0				0	0			0	0														
		長野	1				1	0				0	0			0	0														
	小計	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
4	北陸	富山					0	0				0	0			0	0														
		石川					0	0				0	0			0	0														
		福井					0	0				0	0			0	0														
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
5	東海	愛知					0	0				0	0			0	0														
		岐阜			1	1	2	0			1	1	0			0	0														
		静岡			1		1	0	1	(1)		1				1	0														
		三重					0	0			1	0	1	(1)	1		2	(1)													
	小計	0	0	2	1	3	0	1	(1)	1	0	2	0	0	0	3	(1)														
6	近畿	大阪	2				2	0	2			2	0	2	1		3	0													
		兵庫	2	(1)		1	3	(1)	2	(1)		2	(1)	1	1	(1)		2	(1)												
		京都					0	0				0	0	1			1	0													
		滋賀					0	0				0	0				0	0													
		奈良	1				1	0				0	0				0	0													
		和歌山					0	0				0	0				0	0													
	小計	5	(1)	0	0	8	(1)	4	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	8	(1)												
7	中国	鳥取	1	1			2	0	2			2	0	1			1	0													
		島根	1		1	2	4	0	1		2	2	5	0	1	1	(1)	2	3	7	(1)										
		岡山	1				1	0	2	(1)		2	(1)	1	(1)			1	(1)												
		広島	5	(2)	1	1	7	(2)	4	2		7	0	2	(1)	2		2	(1)	8	(2)										
		山口	4	6	3	4	17	0	5	(1)	4	3	3	15	(1)	4	(1)	2	(1)	4	4	14	(2)								
	小計	12	(2)	8	0	5	0	6	0	31	(2)	14	(2)	6	0	6	0	5	0	31	(2)										
8	四国	徳島	1		1		2	0	2	(1)	2	2	6	(1)	2	(1)	2	3		7	(1)										
		香川				1	1	0				1	0	1	1	(1)		1		3	(1)										
		愛媛	3	1	(1)	7	1	12	(1)	4	3	(1)	4	2	13	(1)	5	(1)	2	1	3	11	(1)								
		高知	1				1	0	1				1	0	1					1	0										
	小計	5	0	1	(1)	8	0	2	0	16	(1)	7	(1)	5	(1)	8	0	3	0	21	(2)										
9	九州・沖縄	福岡	23	(3)	20	(2)	10	6	59	(5)	22	(4)	20	(1)	4	1	47	(5)	22	(5)	16	(1)	10	3	51	(6)					
		佐賀	3		5	(1)	2	1	11	(1)			3	3		6	0	8	(2)	9		4	1	20	(2)						
		長崎	7	(2)	2		7	3	19	(2)	5	(1)	3	5	5	18	(1)	4	(1)	8	(1)	9	(1)	4	25	(3)					
		熊本	21	(5)	22	(3)	4	(1)	2	(1)	49	(10)	24	(5)	17	(3)	8	3	52	(8)	18	(3)	18	(1)	8	4	48	(4)			
		大分	53	(8)	62	(2)	168	(1)	175	(3)	458	(14)	55	(5)	54	(4)	180	171	(2)	460	(11)	55	(4)	56	(4)	155	172	(2)	438	(10)	
		宮崎	13	(1)	8	(1)	18	18	57	(2)	18	(2)	13	(2)	14	21	68	(4)	19	(3)	11	17	(1)	15	62	(4)					
		鹿児島	23	(5)	17	(2)	7	2	49	(7)	14	(2)	15	(1)	10	3	42	(3)	16	(2)	14	17		10	57	(2)					
		沖縄			1		2	0					0	0			0	0							0	0					
	小計	143	(24)	137	(11)	216	(2)	208	(4)	704	(41)	138	(19)	125	(11)	224	0	204	(2)	891	(32)	140	(20)	132	(7)	220	(2)	209	(2)	701	(31)
留 学 生						1	(1)	1	(1)	1	(1)			2		3	(1)	1	(1)			2		1	(1)	4	(2)				
合 計		167	(27)	146	(12)	232	(2)	219	(5)	764	(46)	166	(25)	138	(13)	240	0	212	(2)	756	(40)	165	(27)	147	(12)	233	(2)	225	(5)	770	(46)

() は男子学生数

表 3 - 1

教 育 課 程 表

◎ 共通教育科目 (一般教養科目)

科 目	必修単位	選択単位
哲 学		2
倫 理		2
文 学		2
美 術		2
の 世		2
界 の 美		2
音 楽 の 歴		2
心 理 学		2
ア ト セ ラ ピ		2
法 学 (日 本 国 憲 法)		2
経 済 学		2
現 代 と 人		2
政 治 学		2
企 業 社 会 と 人		2
民 族 と 国 家 学		2
文 化 人 類 学		2
生 活 文 化 史		2
生 活 と 環 境 史		2
ヨ ム ム ム の 歴 史		2
中 世 ム ム ム の 文 化 と 社 会		2
ル ネ サ ン ス の 文 化 史		2
ウ ィ ン の 文 化 史		2
大 分 の 歴 史 と 文 化		2
大 分 の 美 術		2
自 立 を 考 え る		2
現 代 家 族 論		2

科 目	必修単位	選択単位
情報機器基礎演習		2
情報処理入門		1
計		53

◎ 共通教育科目 (外国語科目)

科 目	必修単位	選択単位
英 語 I A		1
英 語 I B		1
英 語 II A		1
英 語 II B		1
ド イ ツ 語 I A		1
ド イ ツ 語 I B		1
ド イ ツ 語 II A		1
ド イ ツ 語 II B		1
フ ラ ン ス 語 I A		1
フ ラ ン ス 語 I B		1
フ ラ ン ス 語 II A		1
フ ラ ン ス 語 II B		1
中 国 語 I A		1
中 国 語 I B		1
中 国 語 II A		1
中 国 語 II B		1
ポ ル ト ガ ル 語 I A		1
ポ ル ト ガ ル 語 I B		1
ポ ル ト ガ ル 語 II A		1
ポ ル ト ガ ル 語 II B		1
イ タ リ ア 語 I A		1
イ タ リ ア 語 I B		1

科 目	必修単位	選択単位
イタリア語ⅡA		1
イタリア語ⅡB		1
計		24

◎ 共通教育科目 (保健体育科目)

科 目	必修単位	選択単位
健康・スポーツ	1	
健康・スポーツA		1
健康・スポーツB		1
健康・スポーツC		1
計	1	3

◎日本語・日本事情科目 (外国人留学生に開設する科目)

科 目	必修単位	選択単位
日本語Ⅰ		2
日本語Ⅱ		2
日本事情		2
計		6

◎ 美術科専門教育科目 (美術専攻)

科 目	必修単位	選択単位
色彩学		2
人体美学		2
現代美術特講A		2
現代美術特講B		2
西洋美術史	2	
日本美術史	2	

科 目	必修単位	選択単位
美 学	2	
表現基礎 (絵画)	2	
表現基礎 (彫刻)	2	
絵画基礎	2	
絵画 I		4
絵画 II		4
版画演習 I		2
版画演習 II		2
版画基礎		2
彫刻基礎	2	
彫刻 I		4
彫刻 II		4
表現演習 I		2
表現演習 II		2
総合表現演習		4
デザイン演習 I	2	
デザイン演習 II		2
工芸演習 I	2	
工芸演習 II		2
美術科教育法		2
卒業制作	4	
計	22	44

◎ 美術科専門教育科目 (デザイン専攻)

科 目	必修単位	選択単位
デザイン概論		2
色彩学		2
デザイン史		2
工芸史		2

科 目	必修単位	選択単位
西洋美術史	2	
日本美術史	2	
美術学	2	
製図		2
デザイン基礎	5	
ビジュアルデザインI		4
ビジュアルデザインII		4
広告制作法		2
工芸基礎	2	
工芸I		4
工芸II		4
映像演習I		2
映像演習II		2
デザイン材料演習I		2
工芸材料演習II		2
工芸材料演習II		2
デザイン特講I		2
デザイン特講II		2
工芸特講I		2
工芸特講II		2
絵画演習I	2	
絵画演習II		2
彫刻演習I	2	
彫刻演習II		2
工芸演習		2
デザイン演習		2
インテリアデザイン		2
意匠学		2
美術科教育法		2
卒業制作	4	
計	21	60

◎ 音楽科専門教育科目 (声楽専攻)

科 目	必修単位	選択単位
音 楽 理 論	2	
和 声 学 I		2
和 声 学 II		2
和 声 ア ナ リ ー ゼ		2
和 声 ア ナ リ ー ゼ 演 習		2
对 位 法 I		2
对 位 法 II		2
作 曲 法 史		2
西 洋 音 楽 史	2	2
日 本 音 楽 史		2
音 指 揮 楽 法	2	2
吹 奏 楽 I	2	
声 楽 II	2	
歌 曲 唱 法		2
才 ペ ラ 唱 法		2
声 学 内 特 演 講 奏		2
音 理 演 習 I		2
音 理 演 習 II		2
音 理 演 習 III		2
音 理 演 習 IV		2
ピ ア ノ 副 演 習 I		2
ピ ア ノ 副 演 習 II		2
管 弦 打 副 演 習 I		2
管 弦 打 副 演 習 II		2
ソ ル フ ェ ー ジ ュ I	2	

科 目	必修単位	選択単位
ソルフェージュ II	2	
合唱 I	2	
合唱 II		2
合奏法		2
伴奏法		2
楽書講読		2
音楽科教育法		2
イタリア語 I A		1
イタリア語 I B		1
イタリア語 II A		1
イタリア語 II B		1
卒業演奏又は卒業研究	4	
計	20	58

◎ 音楽科専門教育科目 (器楽専攻)

科 目	必修単位	選択単位
音楽理論	2	
和声学 I		2
和声学 II		2
和声アナリゼ		2
作曲法		2
西洋音楽史	2	
日本音楽史		2
音楽美学		2
指揮法	2	
吹奏楽法		2
伴奏法		2
伴器法 I		2
器楽	2	

科 目	必修単位	選択単位
器 楽 II	2	
器 楽 III	2	
器 楽 IV	2	
ピ ア ノ 特 講		2
学 内 演 奏		2
管 弦 打 特 講 I		2
管 弦 打 特 講 II		2
声 楽 副 I		2
声 楽 副 II		2
ピ ア ノ 副 I		2
ピ ア ノ 副 II		2
管 弦 打 副 I		2
管 弦 打 副 II		2
ソ ル フ ェ ー ジ ュ I	2	
ソ ル フ ェ ー ジ ュ II	2	
合 奏		2
オ ー ケ ス ト ラ I		2
オ ー ケ ス ト ラ II		2
合 唱 I		2
合 唱 II		2
音 楽 科 教 育 法		2
卒 業 演 奏	4	
計	22	50

◎ 国際文化学科専門教育科目

科 目	必修単位	選択単位
日 本 の 文 化		2
文 化 人 類 学		2
総 合 人 間 論		2

科 目	必修単位	選択単位
国 語 表 現 法		2
東 洋 倫 理 学		2
異文化コミュニケーション論		2
西 洋 の 思 想		2
東 洋 の 思 想		2
キリスト教の思想		2
日 本 の 思 想		2
日 本 の 歴 史		2
大分の歴史と文化 (古代～鎌倉時代)		2
大分の歴史と文化 (戦国～江戸時代)		2
比 較 文 化 論		2
東 洋 古 典 研 究		2
日 本 の 漢 文		2
日本の祭礼と文化		2
アジア太平洋の文化と社会		2
東 洋 の 文 化		2
日 本 文 学 各 論		2
日 本 古 典 研 究		2
歴史資料論 (考古・絵画)		2
歴史資料論 (民俗・古文書)		2
日 本 文 学 研 究		2
論 文 作 成 基 礎		2
中国の文化と社会		2
中国語ゼミナールA		2
中国語ゼミナールB		2
日 本 文 学 概 論		2
民 俗 学		2
現 代 日 本 論		2
宗 教 人 類 学 論		2
伝 統 芸 能 論		2

科 目	必修単位	選択単位
海外中国語実習		2
文化交流史		2
英文学講読 A		2
英文学講読 B		2
日米文化比較①		2
日米文化比較②		2
英語ゼミナール I ①		2
英語ゼミナール I ②		2
英語ゼミナール II		2
英語学		2
西洋古典研究 I		2
西洋古典研究 II		2
地中海世界の歴史		2
西洋思想史		2
クリエイティブ・ライティング		2
アメリカの文化と社会①		2
アメリカの文化と社会②		2
イギリスの文化と社会		2
フランスの文化と社会		2
ポルトガルの文化と社会		2
英文学論		2
英文学史		2
フランス語ゼミナール A		2
フランス語ゼミナール B		2
ポルトガル語ゼミナール A		2
ポルトガル語ゼミナール B		2
国際経済論		2
海外英語実習		2
西洋哲学研究 L S		2
日本文学研究 L S		2

科 目	必修単位	選択単位
英 文 学 研 究 L S		2
文化人類学研究 L S		2
英 詩 研 究 L S		2
フランス文学研究 L S		2
中 国 研 究 L S		2
西 洋 史 研 究 L S		2
大分の歴史研究 L S		2
現 代 社 会 論		2
情報処理基礎演習		1
情報処理応用演習		1
情報機器基礎演習		1
情報機器応用演習		1
秘 書 概 論		2
秘 書 実 務 I		1
秘 書 実 務 II		1
社 会 心 理 学		2
簿 記		2
消 費 行 動 論		2
現 代 生 活 論		2
現 代 企 業 論		2
卒 業 研 究	4	
計	4	160

◎ 情報コミュニケーション学科専門教育科目

科 目	必修単位	選択単位
心 理 学 概 論	2	
パーソナリティ論		2
社 会 心 理 学		2
臨 床 心 理 学		2

科 目	必修単位	選択単位
発達心理学		2
家族心理学		2
グループワーク論		2
産業・組織心理学		2
教育心理学		2
心理学特講		2
臨床心理学特講		2
発達心理学特講		2
芸術心理学		2
社会学概論	2	
地域づくり論		2
現代社会学論		2
労働社会学論		2
高齢化社会学論		2
社会福祉論		2
情報社会学論		2
現代生活論		2
異文化コミュニケーション論		2
社会学演習 I		1
社会学演習 II		1
マス・コミュニケーション論	2	
メディア文化論		2
放送論		2
ジャーナリズム論		2
人権の歴史と思想		2
情報化と人権		2
メディアの中のジェンダー		2
消費行動論		2
情報化と公共政策		2
教育メディア論		2

科 目	必修単位	選択単位
日 本 語 表 現		2
プレゼンテーション		2
メディア・コミュニケーション		2
デザイン構成		2
映像表現・演出		2
スピーチ演習		1
ビジネス文書演習		1
文 章 演 習		1
写真表現演習		1
映像編集演習		1
情 報 基 礎		2
情 報 処 理 論	2	
問 題 解 決 法		2
ヒューマンマシン・コミュニケーション論		2
情報ネットワーク論		2
データベース論		2
情報処理応用演習		1
プログラミング演習		1
情報ネットワーク演習		1
情報機器応用演習		1
地 域 社 会 概 論	2	
地 域 開 発 論		2
地 域 社 会 特 講 I	1	
地 域 社 会 特 講 II	1	
地 方 自 治 論		2
地 方 行 政 法		2
基 礎 演 習	1	
社 会 調 査 法	1	
心 理 学 研 究 法	1	
マ ス コ ミ 研 究 法		1

科 目	必修単位	選択単位
情報処理基礎演習	4	1
情報機器基礎演習		1
卒業研究		
ビジネス・コンピューティング		1
シスアド取得講座		1
秘書概論		2
秘書実務Ⅰ		1
秘書実務Ⅱ		1
現代企業論		2
簿記		2
海外英語実習		2
海外中国語実習		2
計	19	112

◎ 教職に関する専門科目

科 目	必修単位	選択単位
教職の意義		2
教育の基礎理論		1
教育心理学		2
教育行政学		1
道徳教育論		1
教育課程及び指導法(特別活動を含む)		1
生徒指導論(進路指導を含む)		2
教育相談論		2
教育実習研究		1
教育実習Ⅰ		2
教育実習Ⅱ		2
計		17

教育課程表

◎ 美術専攻科専門教育科目

科 目	単 位
実技（絵画・彫刻）Ⅰ	6
実技（絵画・彫刻）Ⅱ	4
実技（ビジュアルデザイン・工芸デザイン）Ⅰ	6
実技（ビジュアルデザイン・工芸デザイン）Ⅱ	4
修了作品制作	4
芸術学特講	2
芸術心理学	2
絵画論	2
西洋文化史特講	2
工芸論	2
版画特講	2
色彩計画演習（ビジュアル・工芸デザイン）	2
計	38

◎ 音楽専攻科専門教育科目

科 目	単 位
声乐実技Ⅰ	4
声乐実技Ⅱ	4
声器実技Ⅰ	4
声器実技Ⅱ	4
音理演習Ⅰ	4
音理演習Ⅱ	4
修了演奏	4
修了研究	4
研 究 発 表	2

科 目		単 位
実 技 特 講	(声 楽)	2
実 技 特 講	(ピ ア ノ)	2
実 技 特 講	(管 弦 打)	2
音 理 特 講		4
重 唱		4
重 奏		4
音 楽 史 特 講		4
合 唱		2
才 一 ケ ス ト ラ		2
計		60

学科		授業科目	共通教育科目			専門教育科目	合計
			一般教養科目	外国語科目	保健体育科目		
美術科	美術専攻	11以上	2以上	1以上	48以上	62以上	
	デザイン専攻						
音楽科	声楽専攻						
	器楽専攻						
国際文化学科							
情報コミュニケーション学							

(単位)

講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲内で学長が定める時間の授業をもって1単位とする。

実験、実習及び保健体育の実技は、30時間から45時間までの範囲内で学長が定める時間の授業をもって1単位とする。

(単位修得の認定)

単位修得の認定は、試験による。

前項の試験及び認定の方法は、学長が別に定める。

(学習の評価)

学習の成績は、100点満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。

前項に定める合格の成績は、次の3段階に区分する。

優 80点以上

良 70点以上80点未満

可 60点以上70点未満

表3-2-①

学科別授業担当コマ数（平成13年度～16年度）

美術科（8人）

★講義★			★演習★			★実習★			★計★		
	計	平均		計	平均		計	平均		計	平均
H13 前期	2	0.25	H13 前期	12	1.50	H13 前期	42.5	5.31	H13 前期	56.5	7.06
H13 後期	3	0.38	H13 後期	14	1.75	H13 後期	58	7.25	H13 後期	75	9.38
H14 前期	2	0.25	H14 前期	12	1.50	H14 前期	42.5	5.31	H14 前期	56.5	7.06
H14 後期	3	0.38	H14 後期	14	1.75	H14 後期	58	7.25	H14 後期	75	9.38
H15 前期	3	0.38	H15 前期	12	1.50	H15 前期	43.5	5.44	H15 前期	58.5	7.31
H15 後期	3	0.38	H15 後期	16	2.00	H15 後期	57.5	7.19	H15 後期	76.5	9.56
H16 前期	3	0.38	H16 前期	32	4.00	H16 前期	38.5	4.81	H16 前期	73.5	9.19
H16 後期	3	0.38	H16 後期	14	1.75	H16 後期	62	7.75	H16 後期	79	9.88

音楽科（10人）

★講義★			★演習★			★実習★			★計★		
	計	平均		計	平均		計	平均		計	平均
H13 前期	8	0.80	H13 前期	27.5	2.75	H13 前期	15.5	1.55	H13 前期	51	5.10
H13 後期	7	0.70	H13 後期	27.5	2.75	H13 後期	17	1.70	H13 後期	49.5	4.95
H14 前期	7	0.70	H14 前期	31	3.10	H14 前期	20.5	2.05	H14 前期	58.5	5.85
H14 後期	6	0.60	H14 後期	30.5	3.05	H14 後期	22.5	2.25	H14 後期	59	5.90
H15 前期	7	0.70	H15 前期	29	2.90	H15 前期	21.5	2.15	H15 前期	57.5	5.75
H15 後期	5	0.50	H15 後期	29.5	2.95	H15 後期	23	2.30	H15 後期	57.5	5.75
H16 前期	10	1.00	H16 前期	30	3.00	H16 前期	41.25	4.13	H16 前期	81.25	8.13
H16 後期	5	0.50	H16 後期	32	3.20	H16 後期	41.75	4.18	H16 後期	78.75	7.88

国際文化学科（9人）

★講義★			★演習★			★実習★			★計★		
	計	平均		計	平均		計	平均		計	平均
H13 前期	21	2.33	H13 前期	11	1.22	H13 前期			H13 前期	32	3.56
H13 後期	21	2.33	H13 後期	11	1.22	H13 後期			H13 後期	32	3.56
H14 前期	24	2.67	H14 前期	11	1.22	H14 前期			H14 前期	35	3.89
H14 後期	22	2.44	H14 後期	11	1.22	H14 後期			H14 後期	33	3.67
H15 前期	25	2.78	H15 前期	12	1.33	H15 前期			H15 前期	37	4.11
H15 後期	25	2.78	H15 後期	12	1.33	H15 後期			H15 後期	37	4.11
H16 前期	35	3.89	H16 前期	21	2.33	H16 前期			H16 前期	56	6.22
H16 後期	36	4.00	H16 後期	21	2.33	H16 後期			H16 後期	57	6.33

情報コミュニケーション学科（10人）

★講義★			★演習★			★実習★			★計★		
	計	平均		計	平均		計	平均		計	平均
H13 前期	26	2.60	H13 前期	21	2.10	H13 前期			H13 前期	47	4.70
H13 後期	25	2.50	H13 後期	17	1.70	H13 後期			H13 後期	42	4.20
H14 前期	39	3.90	H14 前期	27	2.70	H14 前期			H14 前期	66	6.60
H14 後期	22	2.20	H14 後期	20	2.00	H14 後期			H14 後期	42	4.20
H15 前期	36	3.60	H15 前期	27	2.70	H15 前期			H15 前期	63	6.30
H15 後期	27	2.70	H15 後期	22	2.20	H15 後期			H15 後期	49	4.90
H16 前期	37	3.70	H16 前期	36	3.60	H16 前期			H16 前期	73	7.30
H16 後期	43	4.30	H16 後期	25	2.50	H16 後期			H16 後期	68	6.80

一般教育（6人）

★講義★			★演習★			★実習★			★計★		
	計	平均		計	平均		計	平均		計	平均
H13 前期	14	2.33	H13 前期	3	0.50	H13 前期	7	1.17	H13 前期	24	4.00
H13 後期	12	2.00	H13 後期	3	0.50	H13 後期	6	1.00	H13 後期	17	2.83
H14 前期	14	2.33	H14 前期	3	0.50	H14 前期	7	1.17	H14 前期	24	4.00
H14 後期	12	2.00	H14 後期	3	0.50	H14 後期	6	1.00	H14 後期	21	3.50
H15 前期	19	3.17	H15 前期	3	0.50	H15 前期	7	1.17	H15 前期	29	4.83
H15 後期	16	2.67	H15 後期	3	0.50	H15 後期	7	1.17	H15 後期	26	4.33
H16 前期	25	4.17	H16 前期	15	2.50	H16 前期	2	0.33	H16 前期	42	7.00
H16 後期	16.5	2.75	H16 後期	14	2.33	H16 後期	1	0.17	H16 後期	31.5	5.25

表3-2-② 個人別授業担当コマ数 (平成13年度～16年度)

美術科

★講義★

	谷口	河上	中原	原田	中川	根之木	澤田	久保木	計	平均
H13 前期	1					1			2	0.25
H13 後期					1		2		3	0.38
H14 前期	1					1			2	0.25
H14 後期					1		2		3	0.38
H15 前期	1					2			3	0.38
H15 後期					1		2		3	0.38
H16 前期	1					1		1	3	0.38
H16 後期					1		2		3	0.38

★演習★

	谷口	河上	中原	原田	中川	根之木	澤田	久保木	計	平均
H13 前期	2	2	4		2	2			12	1.50
H13 後期		2	2		2		8		14	1.75
H14 前期	2	2	4		2	2			12	1.50
H14 後期		2	2		2		8		14	1.75
H15 前期	2	2	4		2	2			12	1.50
H15 後期		2	2		4		8		16	2.00
H16 前期	4	4	4	4	4	4	6	2	32	4.00
H16 後期		2	4		4		4		14	1.75

★実習★

	谷口	河上	中原	原田	中川	根之木	澤田	久保木	計	平均
H13 前期	3	5	2.5	8.5	4.5	2	10	7	42.5	5.31
H13 後期	6	6.5	8	13.5	4.5	10.5		9	58	7.25
H14 前期	3	5	2.5	8.5	4.5	2	10	7	42.5	5.31
H14 後期	6	6.5	8	13.5	4.5	10.5		9	58	7.25
H15 前期	3	5	2.5	8.5	5.5	2	10	7	43.5	5.44
H15 後期	6	6.5	8	13.5	4	10.5		9	57.5	7.19
H16 前期	7	5.5	3.5	5.5	6	5	1	5	38.5	4.81
H16 後期	7	6	7	14	4	12	2	10	62	7.75

★計★

	谷口	河上	中原	原田	中川	根之木	澤田	久保木	計	平均
H13 前期	6	7	6.5	8.5	6.5	5	10	7	56.5	7.06
H13 後期	6	8.5	10	13.5	7.5	10.5	10	9	75	9.38
H14 前期	6	7	6.5	8.5	6.5	5	10	7	56.5	7.06
H14 後期	6	8.5	10	13.5	7.5	10.5	10	9	75	9.38
H15 前期	6	7	6.5	8.5	7.5	6	10	7	58.5	7.31
H15 後期	6	8.5	10	13.5	9	10.5	10	9	76.5	9.56
H16 前期	12	9.5	7.5	9.5	10	10	7	8	73.5	9.19
H16 後期	7	8	11	14	9	12	8	10	79	9.88

音楽科

★講義★

	宮本	大島	行天	河野	小川	遠藤	若松	积迦郡	石山	川瀬	合計	平均
H13 前期					2	5		1			8	0.80
H13 後期					1	6					7	0.70
H14 前期					2	4		1			7	0.70
H14 後期					1	5					6	0.60
H15 前期					2	4		1			7	0.70
H15 後期					1	4					5	0.50
H16 前期					3	6		1			10	1.00
H16 後期					1	4					5	0.50

★演習★

	宮本	大島	行天	河野	小川	遠藤	若松	积迦郡	石山	川瀬	合計	平均
H13 前期	8.5			6	4	1	1	7			27.5	2.75
H13 後期	8.5			6	4	2		7			27.5	2.75
H14 前期	9			6	4	1	1	8		2	31	3.10
H14 後期	8.5			6	4	2		8		2	30.5	3.05
H15 前期	8			6	4	1		8		2	29	2.90
H15 後期	7.5			6	4	2		8		2	29.5	2.95
H16 前期	8.5			6	4	1		8		2.5	30	3.00
H16 後期	8.5			6	5	2		8		2.5	32	3.20

★実習★

	宮本	大島	行天	河野	小川	遠藤	若松	积迦郡	石山	川瀬	合計	平均
H13 前期		8.5					7				15.5	1.55
H13 後期		8			1		8				17	1.70
H14 前期		8					7			5.5	20.5	2.05
H14 後期		8			1		8.5			5	22.5	2.25
H15 前期		8.5					7.5			5.5	21.5	2.15
H15 後期		8.5			1		8.5			5	23	2.30
H16 前期		8	8.25				8		9	8	41.25	4.13
H16 後期		8	8.75				9		8	8	41.75	4.18

★計★

	宮本	大島	行天	河野	小川	遠藤	若松	积迦郡	石山	川瀬	合計	平均
H13 前期	8.5	8.5		6	6	6	8	8			51	5.10
H13 後期	8.5	8		6	6	6	8	7			49.5	4.95
H14 前期	9	8		6	6	5	8	9		7.5	58.5	5.85
H14 後期	8.5	8		6	6	7	8.5	8		7	59	5.90
H15 前期	8	8.5		6	6	5	7.5	9		7.5	57.5	5.75
H15 後期	7.5	8.5		6	6	6	8.5	8		7	57.5	5.75
H16 前期	8.5	8	8.25	6	7	7	8	9	9	10.5	81.25	8.13
H16 後期	8.5	8	8.75	6	6	6	9	8	8	10.5	78.75	7.88

国際文化学科

★講義★

	後藤	吉良(國)	上野	入野	大橋	鄧	晴谷	野坂	伊藤	計	平均
H13 前期	2	4	3	2	2	2	2	4		21	2.33
H13 後期	2	4	3	2	2	2	2	4		21	2.33
H14 前期	2	4	3	2	2	5	2	4		24	2.67
H14 後期	2	4	3	2	2	2	3	4		22	2.44
H15 前期	2	4	3	2	2	3	2	4	3	25	2.78
H15 後期	2	4	3	2	2	2	3	4	3	25	2.78
H16 前期	3	5	4	3	3	4	3	7	3	35	3.89
H16 後期	3	5	4	4	3	3	4	6	4	36	4.00

★演習★

	後藤	吉良(國)	上野	入野	大橋	鄧	晴谷	野坂	伊藤	計	平均
H13 前期	2	1	1	2	2	2	2	1		13	1.44
H13 後期	2		1	2	2	2	2			11	1.22
H14 前期	2		1	2	2	2	2			11	1.22
H14 後期	2		1	2	2	2	2			11	1.22
H15 前期	2		1	2	2	2	2		1	12	1.33
H15 後期	2		1	2	2	2	2		1	12	1.33
H16 前期	4		2	4	4	3	2		2	21	2.33
H16 後期	4		2	4	4	3	2		2	21	2.33

★計★

	後藤	吉良(國)	上野	入野	大橋	鄧	晴谷	野坂	伊藤	計	平均
H13 前期	4	4	4	4	4	4	4	4		32	3.56
H13 後期	4	4	4	4	4	4	4	4		32	3.56
H14 前期	4	4	4	4	4	7	4	4		35	3.89
H14 後期	4	4	4	4	4	4	5	4		33	3.67
H15 前期	4	4	4	4	4	5	4	4	4	37	4.11
H15 後期	4	4	4	4	4	4	5	4	4	37	4.11
H16 前期	7	5	6	7	7	7	5	7	5	56	6.22
H16 後期	7	5	6	8	7	6	6	6	6	57	6.33

情報コミュニケーション学科

★講義★

	凍田	吉良(伸)	吉山	坂口	藤田	水上	別府	吉岡	高橋	柴田	合計	平均
H13 前期	4	3	5	4	5			3	2		26	2.60
H13 後期	2	3	5	2	4	3		2	4		25	2.50
H14 前期	4	3	5	4	5	3	5	3	5	2	39	3.90
H14 後期	2	3	5	2	4	1	2	2		1	22	2.20
H15 前期	4	3	5	4	5	3	5	3	2	2	36	3.60
H15 後期	2	3	5	2	4	1	2	2	5	1	27	2.70
H16 前期	4	3	5	4	4	5	5	2	3	2	37	3.70
H16 後期	4	4	6	5	6	3	4	4	6	1	43	4.30

★演習★

	凍田	吉良(伸)	吉山	坂口	藤田	水上	別府	吉岡	高橋	柴田	合計	平均
H13 前期	8	3	1	1	1			5	2		21	2.10
H13 後期	4	3	1	1	1	2		4	1		17	1.70
H14 前期	8	3	1	1	1	3		5	2	3	27	2.70
H14 後期	4	3	1	1	1	2	1	4	1	2	20	2.00
H15 前期	8	4	1	1	1	3		5	1	3	27	2.70
H15 後期	4	4	1	1	1	2	2	4	1	2	22	2.20
H16 前期	10	5	1	2	2	3		8	2	3	36	3.60
H16 後期	4	4	1	1	1	2	2	4	3	3	25	2.50

★計★

	凍田	吉良(伸)	吉山	坂口	藤田	水上	別府	吉岡	高橋	柴田	合計	平均
H13 前期	12	6	6	5	6			8	4		47	4.70
H13 後期	6	6	6	3	5	5		6	5		42	4.20
H14 前期	12	6	6	5	6	6	5	8	7	5	66	6.60
H14 後期	6	6	6	3	5	3	3	6	1	3	42	4.20
H15 前期	12	7	6	5	6	6	5	8	3	5	63	6.30
H15 後期	6	7	6	3	5	3	4	6	6	3	49	4.90
H16 前期	14	8	6	6	6	8	5	10	5	5	73	7.30
H16 後期	8	8	7	6	7	5	6	8	9	4	68	6.80

一般教育

★講義★

	染矢	佐藤	洲	高瀬	貞包	加藤	計	平均
H13 前期	1	6		4	3		14	2.80
H13 後期	1	4		4	3		12	2.40
H14 前期	1	6		4	3		14	2.80
H14 後期	1	4		4	3		12	2.40
H15 前期	1	6		4	3	5	19	3.80
H15 後期	1	4		4	3	4	16	3.20
H16 前期	4	7		3	5	6	25	5.00
H16 後期		4	0.5	4	4	4	16.5	3.30

★演習★

	染矢	佐藤	洲	高瀬	貞包	加藤	計	平均
H13 前期	3						3	0.60
H13 後期	3						3	0.60
H14 前期	3						3	0.60
H14 後期	3						3	0.60
H15 前期	3						3	0.60
H15 後期	3						3	0.60
H16 前期	2		10	3			15	3.00
H16 後期	6		5	3			14	2.80

★実習★

	染矢	佐藤	洲	高瀬	貞包	加藤	計	平均
H13 前期	1		6				7	1.40
H13 後期			6				6	1.20
H14 前期	1		6				7	1.40
H14 後期			6				6	1.20
H15 前期			6			1	7	1.40
H15 後期			6			1	7	1.40
H16 前期	1					1	2	0.40
H16 後期						1	1	0.20

★ 計 ★

	染矢	佐藤	洲	高瀬	貞包	加藤	計	平均
H13 前期	5	6	6	4	3		24	4.80
H13 後期		4	6	4	3		17	3.40
H14 前期	5	6	6	4	3		24	4.80
H14 後期	4	4	6	4	3		21	4.20
H15 前期	4	6	6	4	3	6	29	5.80
H15 後期	4	4	6	4	3	5	26	5.20
H16 前期	7	7	10	6	5	7	42	8.40
H16 後期	6	4	5.5	7	4	5	31.5	6.30

表4-6 蔵書数・学術雑誌数

H16. 4. 1現在

	図 書			雑 誌		
	内国書 (冊)	外国書 (冊)	図書計 (冊)	内国書 (冊)	外国書 (冊)	雑誌計 (種)
一般教育関係						
人文科学関係	10,886	1,908	12,794	5	1	6
社会科学関係	10,698	1,536	12,234	22	3	25
自然科学関係	3,999	596	4,595	11	0	11
小 計	25,583	4,040	29,623	38	4	42
外国語関係	1,947	1,341	3,288	10	1	11
保健体育関係	1,025	218	1,243	6	0	6
専門科目関係						
美術関係	10,571	1,537	12,108	46	9	55
音楽関係	7,664	8,356	16,020	26	15	41
国際文化関係	13,259	5,686	18,945	46	26	72
情報コミュニケーション関係	9,778	2,369	12,147	29	24	53
小 計	41,272	17,948	59,220	147	74	221
合 計	69,827	23,547	93,374	201	79	280

AV資料数

資 料 名			年間受入	年間払出	16年3月31日 現在保有数	
レコード	レコード		(枚)	0	0	1,503
	CD		(組)	170	4	3,974
	(うちCD-R)		(組)	(0)	(0)	(1)
映画フィルム	8mm		(本)	0	0	7
	16mm		(本)	0	0	1
録音・録画	ビデオカセットテープ	VHS	(組)	48	0	1,322
		Beta	(本)	0	0	91
		8mm	(本)	1	0	11
		U-Matic	(本)	0	0	9
	ビデオディスク	LD	(枚)	0	0	286
		VHD	(枚)	0	0	36
		DVD	(組)	113	0	282
	カセットテープ	カセットテープ	(組)	1	0	270
		DAT	(本)	0	0	8
		オープンリールテープ	(本)	0	0	121
スライド	スライド		(組)	0	0	38
トランスペア レンシー	OHPシート		(組)	0	0	1
マイクロ	マイクロフィルム		(本)	12	0	169
コンピュータ ファイル	フロッピーディスク		(組)	0	0	2
計				345	4	8,131

表5-4 資格取得の取り組み

英語検定受験状況

		国際文化	国際文化	情コミュ	情コミュ	全学科	全学科	合格率
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	総受験者	合格者数	(%)
平成 13 年度	第1回	54	11	24	3	80	15	19
	第2回	28	6	7	1	36	7	19
	第3回	38	1	12	1	52	2	4

平成 14 年度	第1回	34	12	4	1	38	13	34
	第2回	14	5	0	0	14	5	36
	第3回	19	5	4	0	24	5	21

平成 15 年度	第1回	29	6	9	1	38	7	18
	第2回	30	6	4	1	34	7	21
	第3回	26	4	2	0	29	4	14

TOEIC IP 受験状況

		受験者数	リスニング平均点	リーディング平均点	総合平均点
平成 14 年度	第1回	21	243.1	173.6	416.7
	第2回	22	263.0	192.3	455.2

平成 15 年度	第1回	11	275.9	150.0	425.9
	第2回	8	279.4	197.5	476.9
	第3回	29	257.2	180.0	437.2

「フランス語技能検定試験」

	5級受験者数	合格者数	合格率
平成14年度春季	26	20	77%
平成14年度秋季	26	23	88%
平成15年度春季	8	8	100%
平成15年度秋季	20	15	75%

	4級受験者数	合格者数	合格率
平成14年度春季	7	4	57%
平成14年度秋季	13	6	46%
平成15年度春季	11	4	36%
平成15年度秋季	4	3	75%

	3級受験者数	合格者数	合格率
平成14年度秋季	4	1	25%
平成15年度春季	2	1	50%

	受験者数合計	合格者数合計	合格率
平成14年度春季	33	24	73%
平成14年度秋季	43	30	70%
平成15年度春季	21	13	62%
平成15年度秋季	24	18	75%

「中国語技能検定試験」

第8回	試験区分	受験者数	合格者数
(13年11月)	4級	6	5
	準4級	22	9
	5級	2	2
合計		31	17

第9回	3級	2	1
(14年6月)	4級	7	6
	準4級	13	8
	5級	1	0
合計		23	15

第10回	4級	2	1
(14年11月)	準4級	14	9
	5級	15	15
合計		31	25

第11回	3級	3	2
(15年6月)	4級	19	10
	準4級	1	1
	5級	5	5
合計		28	18

第12回	3級	5	3
(15年11月)	4級	5	4
	準4級	9	8
	5級	9	4
合計		28	19

「ワープロ検定3級」

	受験者数	合格者数
第35回		
(平成13年5月)	15	12
第36回		
(平成13年7月)	6	6
第37回		
(平成13年12月)	173	149
計	194	167
第38回		
(平成14年5月)	11	3
第39回		
(平成14年7月)	9	7
第40回		
(平成14年12月)	156	122
計	176	132
第41回		
(平成15年5月)	8	5
第42回		
(平成15年7月)	21	18
第43回		
(平成15年12月)	152	140
計	181	163
第44回		
(平成16年5月)		
第45回		
(平成16年7月)	12	12
第46回		
(平成16年12月)	142	
計	154	12
合計	563	474
合格率	84%	

「ワープロ検定2級」

	受験者数	合格者数
第27回		
(平成13年5月)	61	9
第28回		
(平成13年10月)	33	11
計	94	20
第29回		
(平成14年5月)	53	5
第30回		
(平成14年10月)	22	3
計	75	8
第31回		
(平成15年5月)	37	19
第32回		
(平成15年10月)	21	1
計	58	20
第33回		
(平成16年5月)	54	31
第34回		
(平成16年10月)	12	3
計	66	34
合計	293	82
合格率	28%	

「ビジネスコンピューティング検定3級」

	受験者数	合格者数
第17回		
(平成15年9月)	6	4
第18回		
(平成16年2月)	42	35
第19回		
(平成16年9月)	9	8
第20回		
(平成17年2月)		

合計	57	47
合格率	82%	

「ビジネスコンピューティング検定2級」

	受験者数	合格者数
第11回		
(平成15年9月)	3	2
第12回		
(平成16年2月)	0	0
第13回		
(平成16年9月)	0	0
第14回		
(平成17年2月)	0	0

合計	3	2
合格率	67%	

表6-2-① 平成13年度(平成14年3月)卒業者の進路(就職・進学(編入学))内定状況

平成14年5月1日現在

I 進路(就職内定・進学)状況

学科、専攻科名	卒業・修了生数		就職希望者数		進学希望者数			その他 A-B-D 人	前年度同月比 (H13.5.1)			前年度同月比 (H13.5.1)		
	A 人	B 人	C 人	内定率 C/B %	D 人	E 人	合格率 E/D %		就職希望者数 人	内定者数 人	内定率 %	就職希望者数 人	内定者数 人	内定率 %
美術科	71	23	18	78.3	31	30	96.8	17	14	5	35.7	14	5	35.7
音楽科	63	18	11	61.1	25	22	88.0	20	8	8	100.0	8	8	100.0
小計	134	41	29	70.7	56	52	92.9	37	22	13	59.1	22	13	59.1
国際文化学科	103	55	51	92.7	22	20	90.9	26	70	64	91.4	70	64	91.4
コミュニケーション学科	96	70	64	91.4	13	12	92.3	13	69	68	98.6	69	68	98.6
小計	199	125	115	92.0	35	32	91.4	39	139	132	95.0	139	132	95.0
計	333	166	144	86.7	91	84	92.3	76	161	145	90.1	161	145	90.1
美術専攻科	25	9	7	77.8	1	1	100.0	15	8	7	87.5	8	7	87.5
音楽専攻科	19	6	5	83.3	0	0	-	13	5	5	100.0	5	5	100.0
計	44	15	12	80.0	1	1	100.0	28	13	12	92.3	13	12	92.3
合計	377	181	156	86.2	92	85	92.4	104	174	157	90.2	174	157	90.2

II 進学(編入学)状況

※下記の数は編入試験等の合格者数

大学 専名	美術科		音楽科		国際文化学科		コミュニケーション学科		美術専攻科		音楽専攻科		計	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
佐賀大学文化教育学部	2	1			3	2	2						7	3
愛媛大学法文学部(夜間主)					2								2	0
山口県立大学国際文化学部					1								1	0
山口県立大学社会福祉学部							1						1	0
大分大学経済学部					3	2	2	1					5	3
別府大学文学部					3		1						4	0
高知大学人文学部					1	1							1	1
下関市立大学経済学部					1	1	1						2	1
熊本大学法学部							1						1	0
熊本大学文学部					2	2	1						3	2
山口大学人文学部					2		2						4	0
佐賀県立有田工業大学校	1												1	0
成安造形大学デザイン科	1												1	0
京都精華大学芸術学部	1												1	0
活水女子大学音楽学部			1										1	0
武蔵野音楽大学音楽学部			1										1	0
大分県立芸術文化短期大学専攻科	24	27	19	17									43	44
その他専門学校等			2		7		3		1				13	0
香川大学経済学部								1					0	1
立命館大学国際関係学部							1						0	1
相愛大学音楽学部				1									0	1
神戸芸術工科大学芸術工学部		1											0	1
洗足学園大学音楽学部				1									0	1
愛知県立芸術大学音楽学部				1									0	1
計	30	29	23	20	25	9	14	2	1	0	0	0	93	60

表6-2-② 平成14年度卒業者の進路(就職・進学(編入学))状況

平成15年5月1日 現在

I 進路(就職内定・進学)状況

学科、専攻科名	卒業・修了生数		就職希望者数		進学希望者数			その他 A-B-D 人	前年度同月比 (H14.5.1)			前年度最終状況 (H14.5.1)		
	A 人	B 人	C 人	C/B %	D 人	E 人	E/D %		就職希望者数 人	内定者数 人	内定率 %	就職希望者数 人	内定者数 人	内定率 %
芸術科	74	23	11	47.8	28	28	100.0	23	23	18	78.3	23	18	78.3
音楽科	70	14	7	50.0	36	29	80.6	20	18	11	61.1	18	11	61.1
小計	144	37	18	48.6	64	57	89.1	43	41	29	70.7	41	29	70.7
国際文化学科	109	69	63	91.3	22	19	86.4	18	55	51	92.7	55	51	92.7
コミュニケーション学科	110	77	74	96.1	7	7	100.0	26	70	64	91.4	70	64	91.4
小計	219	146	137	93.8	29	26	89.7	44	125	115	92.0	125	115	92.0
計	363	183	155	84.7	93	83	89.2	87	166	144	86.7	166	144	86.7
芸術専攻科	24	10	9	90.0	1	1	100.0	13	9	7	77.8	9	7	77.8
音楽専攻科	20	7	5	71.4	2	2	100.0	11	6	5	83.3	6	5	83.3
計	44	17	14	82.4	3	3	100.0	24	15	12	80.0	15	12	80.0
合計	407	200	169	84.5	96	86	89.6	111	181	156	86.2	181	156	86.2

II 進学(編入学)状況 ※下記の数は編入試験等の合格者数

大学等名	芸術科		音楽科		国際文化学科		コミュニケーション学科		芸術専攻科		音楽専攻科		計	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
佐賀大学文化教育学部		2			7	3	1	2					8	7
愛媛大学法文学部(夜間主)					2	2							2	2
山口県立大学国際文化学部					2	1							2	1
香川大学法学部					1								1	0
大分大学経済学部			1		4	3	2	2					7	5
高知大学人文学部					1	1							1	1
北九州市立大学文学部(夜間)					1								1	0
下関市立大学経済学部					2	1		1					2	2
熊本大学文学部					3	2	1	1					4	3
長崎大学経済学部					1								1	0
山口大学人文学部						2	1	2					1	4
立命館アジア太平洋大学		1					1						1	1
京都嵯峨芸術大学造形学科	1												1	0
京都造形芸術大学	2												2	0
女子美術大学芸術学部	1												1	0
摂生大学芸術学部	1												1	0
同志社女子大学学芸学部			1										1	0
武蔵野音楽大学音楽学部			3	1							1		4	1
洗足学園音楽大学音楽学部			1								1		2	0
活水女子大学音楽学部			1	1									1	1
エリザベト音楽大学演習学科			1										1	0
フェリス学院大学音楽学部			1								1		2	0
前年度のみ合格者のいる大学		2				3		3					0	8
大分県立芸術文化短期大学専攻科	19	24	20	19									39	43
新見公立短期大学	1												1	0
鹿児島女子短期大学	1												1	0
佐賀県立有田産業大学校		1											0	1
その他専門学校	2		1	2	1	7	3	3	1	1			8	13
計	28	30	30	23	25	25	9	14	1	1	3	0	96	93

表6-2-③ 平成15年度卒業者の進路(就職・進学(編入学))状況

平成16年5月1日 現在

I 進路(就職内定・進学)状況

学科・専攻科名	卒業・修了生数		就職希望者数		進学希望者数			その他 A-B-D	前年度同月比 (H15.5.1)			前年度進路状況 (H15.5.1)		
	A	B	C	C/B %	D	E	E/D %		希望者数	就職者数	就職率 %	希望者数	就職者数	就職率 %
美術科	76	19	10	52.6	23	22	95.7	34	23	11	47.8	23	11	47.8
音楽科	59	16	13	81.3	24	19	79.2	19	14	7	50.0	14	7	50.0
小計	135	35	23	65.7	47	41	87.2	53	37	18	48.6	37	18	48.6
国際文化学科	108	59	49	83.1	18	16	88.9	31	69	63	91.3	69	63	91.3
コミュニケーション学科	94	72	67	93.1	4	2	50.0	18	77	74	96.1	77	74	96.1
小計	202	131	116	88.5	22	18	81.8	49	146	137	93.8	146	137	93.8
計	337	168	139	83.7	69	59	85.5	102	183	155	84.7	183	155	84.7
美術専攻科	17	11	6	54.5	0	0	-	6	10	9	90.0	10	9	90.0
音楽専攻科	17	3	3	100.0	1	1	100.0	13	7	5	71.4	7	5	71.4
計	34	14	9	64.3	1	1	100.0	19	17	14	82.4	17	14	82.4
合計	371	180	148	82.2	70	60	85.7	121	200	169	84.5	200	169	84.5

II 進学(編入学)状況 ※下記の数は編入試験等の合格者数

大学等名	芸術科		音楽科		国際文化学科		コミュニケーション学科		美術専攻科		音楽専攻科		計	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
佐賀大学文化教育学部					1	7		1					1	8
愛媛大学法学部(夜間主)					3	2							3	2
大分大学経済学部			1	4	4	1	2						5	7
北九州市立大学文学部				1	1								1	1
熊本大学文学部				1	3	1	1						2	4
山口大学人文学部				1			1						1	1
大阪女子大学人文社会学部				1									1	0
大阪市立大学文学部				1									1	0
鹿児島大学法学部				1									1	0
筑波大学図書館情報科学部				1									1	0
東京造形大学造形学部	1												1	0
武蔵野美術大学造形学部	1												1	0
大阪芸術大学芸術学部			1										1	0
名古屋音楽大学音楽部			1										1	0
京都外国語大学英米語学科				1									1	0
長崎外国語大学英語学科				1									1	0
愛知県立芸術大学音楽学部(1年次)											1		1	0
前年度のみ合格者がいる大学		5		8		7		1				3	0	24
大分県立芸術文化短期大学専攻科	20	19	17	20									37	39
他の短期大学		2			1								1	2
専門学校	1	2		1	3	1		3		1			4	8
計	23	28	19	30	21	25	2	9	0	1	1	3	66	96

表7-1 研究業績

美術科(8人)
展覧会

年度			開催数			平均					
H13	10	1.25	H13	0	0.00	H13	4	0.50	H13	2	0.25
H14	8	1.00	H14	1	0.13	H14	5	0.63	H14	2	0.25
H15	8	1.00	H15	0	0.00	H15	5	0.63	H15	2	0.25
H16	3	0.38	H16	0	0.00	H16	2	0.25	H16	1	0.13
計	29	3.63	計	1	0.13	計	16	2.00	計	7	0.88

音楽科(10人)

年度			開催数			平均								
H13	4	0.57	H13	63	9.00	H13	5	1.67	H13	6	2.00	H13	0	0.00
H14	5	0.71	H14	32	4.57	H14	4	1.33	H14	12	4.00	H14	2	0.67
H15	9	1.29	H15	32	4.57	H15	4	1.33	H15	17	5.67	H15	2	0.67
H16	1	0.14	H16	18	2.57	H16	4	1.33	H16	2	0.67	H16	0	0.00
計	19	2.71	計	145	20.71	計	17	5.67	計	37	12.33	計	4	1.33

国際文化学科(9人)

年度			執筆数			平均					
H13	2	0.22	H13	9	1.00	H13	4	0.44	H13	2	0.22
H14	0	0.00	H14	7	0.78	H14	4	0.44	H14	4	0.44
H15	4	0.44	H15	16	1.78	H15	6	0.67	H15	3	0.33
H16	2	0.22	H16	3	0.33	H16	1	0.11	H16	2	0.22
計	8	0.89	計	35	3.89	計	15	1.67	計	11	1.22

情報コミュニケーション学科(10人)

年度			執筆数			平均					
H13	1	0.10	H13	11	1.10	H13	18	1.80	H13	3	0.30
H14	4	0.40	H14	6	0.60	H14	18	1.80	H14	1	0.10
H15	3	0.30	H15	7	0.70	H15	12	1.20	H15	5	0.50
H16	0	0.00	H16	2	0.20	H16	4	0.40	H16	4	0.40
計	8	0.80	計	26	2.60	計	52	5.20	計	13	1.30

一般教育(6人)

年度			執筆数			平均					
H13	6	1.00	H13	5	0.83	H13	4	0.67	H13	2	0.33
H14	3	0.50	H14	5	0.83	H14	5	0.83	H14	2	0.33
H15	4	0.67	H15	3	0.50	H15	9	1.50	H15	4	0.67
H16	3	0.50	H16	0	0.00	H16	0	0.00	H16	0	0.00
計	16	2.67	計	13	2.17	計	18	3.00	計	8	1.33

表8-1 教員の社会的活動状況 (平成13年度～現在にいたる外部委員・講演・コンクール審査員等)

<美術科>

職・氏名	年月日または期間	内容 (講演の演題、主催等；外部の委員、審査員等)
教授 谷口晶之	昭和49年～現在 平成8年～現在 昭和57年～現在 昭和60年～現在 平成2年～現在 昭和63年～現在	国展審査(東京都美術館) 国画会会員 西部国画会：運営委員・審査員・事務局長 大分県ニューライフアカデミア 高年大学専任講師 大分県ニューライフアカデミア 婦人大学専任講師 大分県ニューライフアカデミア マスターズコース専任講師 別府市教育委員会関係講座 版画講座 (別府サザンクロス)
助教授 河上 央	平成13年10月25日 平成14年10月30日 平成15年7月 平成15年10月	第26回「ごはん：お米とわたし」 図画コンクール審査員 大分県農業協同組合中央会 第27回「ごはん：お米とわたし」 図画コンクール審査員 大分県農業協同組合中央会 第53回 延岡市美術展「日本画・水墨画」 部門審査 (延岡市) 第28回「ごはん：お米とわたし」 図画コンクール審査員 大分県農業協同組合中央会
助教授 原田裕明	昭和60年～平成14年 平成15年 平成15年 平成15年～平成16年	大分市美術展実行委員 (大分市教育委員会) 第35回日展審査員 (社団法人日展) 第80回記念白昼展審査員 (白昼会) 日影展運営委員 (日影会)
教授 中川恵雄	平成15年11月 平成16年1月 平成16年5月	大分県「第40回献血運動推進全国大会イメージキャラクター」の審査委員長 「大分県廃棄物リサイクル製品認定制度シンボルマーク」の審査委員 「ごみゼロおいた作戦シンボルマーク」の事前審査委員
教授 根之木英二	平成13年9月 平成13年～現在 平成13年～現在 平成13年～現在 平成14年～現在 平成14年6月	大分県教育センター研修会講師「美術教育におけるコンピュータの活用」 大分県デザイン振興協議会 (現、大分県デザイン協会) 運営委員 大分県民芸術文化祭ポスター審査委員 (大分県文化振興課) 大分県人権啓発ポスター審査委員 (大分県人権同和对策課) 大分県統計グラフコンクール審査委員 (大分県統計協会) 大分県教育センター研修会講師「コンピュータを効果的に取り入れた授業の指導のあり方」
助教授 久保木真人	平成7年5月 ～平成15年5月 平成12年6月～現在 平成13年～現在 平成13年～平成15年 平成13年～平成16年	大分県美術協会事務局次長 (平成15年6月～事務局委員) 大分県芸術文化振興会議事務局次長 大分県デザイン協会 (旧・デザイン振興協議会) 運営委員 大分市陶芸祭審査委員 豊の国ねんりんピックシルバー作品展審査員

<音楽科>

職・氏名	年月日または期間	内容 (講演の演題、主催等；外部の委員、審査員等)
教授 宮本 修	平成11月10月～現在 平成9年4月～現在 昭和62年10月～現在 昭和60年8月～現在 平成2年9月～現在 平成14年4月～現在	大分県ニューライフアカデミア 高年大学校講師・講演の演題「歌唱とこころ」(月1回の講演) 大分「第九を歌う会」合唱指揮 (月1回の合唱指導) 大分中央合唱団常任指揮者 (練習は週に2回) 混声4部の社会人合唱団 NHK全国学校音楽コンクール (大分地方コンクール) 審査員 (主催：NHK) 大分県音楽コンクール (声楽部門) 審査員 (主催：大分県音楽協会) 大分県合唱連盟理事長 (大分県合唱連盟主催) 大分県芸術文化振興会議理事 (主催：大分県) お母さんコーラスフェスティバル実行委員会委員長 (主催：大分合同新聞社)
教授 大島栄子	平成13年10月19日 20日 11月10日 10月21日 平成14年10月20日 11月9日 10月19日 平成15年10月12日 11月8日 10月25日 26日 平成15年3月14日	「南日本音楽コンクール」 声楽予選審査員 (南日本新聞社主催) 「南日本音楽コンクール」 声楽本選審査員 (中・高・大学一般) 「滝藤太郎 全日本学生コンクール」 本選審査員 (竹田市主催) 「南日本音楽コンクール」 声楽予選審査員 (中・高・大学一般) 「南日本音楽コンクール」 声楽本選審査員 (中・高・大学一般) 「滝藤太郎 全日本学生コンクール」 本選審査員 (高校生) 「南日本音楽コンクール」 声楽予選審査員 (中・高・大学一般) 「南日本音楽コンクール」 声楽本選審査員 (中・高・大学一般) 「滝藤太郎 全日本学生コンクール」 予選・本選審査員 (高校生) 「東京声楽コンクール」 本選審査員 国際芸術連盟主催
助教授 河野敦朗	平成13年～現在 平成14年7月27、28日	大分県音楽コンクール作曲部門審査員 第47回福岡県吹奏楽コンクール審査員

職・氏名	年月日または期間	内容（講演の演題、主催等：外部の委員、審査員等）
助教授 小川伊作	毎年 毎年 毎年 毎年 毎年 平成16年～18年 毎年	大分県生涯教育センター「婦人大学校」講師 コンバルホール運営委員 コンバルホール「名曲サロン」講師 上野の森アートフェスティバルスタッフ BUNGO-大分エスパニャ協会事務局 「別府古楽祭」主催 大分豊後ルネッサンス音楽祭実行委員 ビウエラ講習会講師
助教授 遠藤信一	平成13年10月28日 平成14年10月13日 平成14年10月～現在 平成16年 6月	総務大臣杯第4回日本太鼓ジュニアコンクール大分県予選審査員 総務大臣杯第5回日本太鼓ジュニアコンクール大分県予選審査員 音楽理論研究会発起人及び幹事 公開講座「素敵に知的にピアノを奏でよう」全3回 公開講座「開けてビックリアイネ・クライネ」全4回
教授 若松啓子	平成13年 5月3、4日 6月10日 平成13年 8月25、26日 10月7日 平成13年10月13日 平成14年 5月18日 平成14年 5月3、4日 6月9日 平成14年 8月31日 9月1日 平成14年10月5日 平成14年10月12日 平成15年 8月29日 ～31日 10月11、12日	第20回飯塚新人音楽コンクール予選審査員 第20回飯塚新人音楽コンクール本選審査員 第7回フェスティバル平和記念鳥栖ピアノコンクール予選審査員 第7回フェスティバル平和記念鳥栖ピアノコンクール本選審査員 芸短OB演奏会（第3回、第4回）総監督 大分県民芸術文化祭参加行事総監督 第21回飯塚新人音楽コンクール予選審査員 第21回飯塚新人音楽コンクール本選審査員 第8回フッペル平和記念鳥栖ピアノコンクール予選、本選審査員 第8回フッペル平和記念鳥栖ピアノコンクール予選、本選審査員 園田高弘 ジュニアピアノコンクール本選審査員 第9回フッペル平和記念鳥栖ピアノコンクール予選、本選審査員 第9回フッペル平和記念鳥栖ピアノコンクール予選、本選審査員
助教授 釈迦郡誠	平成13年～14年 平成13年～現在 平成13年～現在 平成13年～現在 平成15年～現在 平成13年 8月11日 平成13年～現在 平成16年 6月	園田高弘賞ジュニアピアノコンクール審査員（大分県主催） 大分県音楽コンクール審査員（大分県音楽協会主催） 宮崎ピアノコンクール審査員（宮崎県音楽協会主催） グレンウツエンピアノコンクール審査員 （グレンウツエンピアノ研究会主催） 大牟田ジュニアピアノコンクール審査員 （大牟田市、大牟田市教育委員会主催） 宮崎県高等学校独奏、独唱コンクール審査員（宮崎県高等学校文化連盟） 白と黒「ピアノ研究グループ」代表 県内のピアノ指導者、専門大学生 等で組織 GEN室内管弦楽団を招く会事務局長 16年9月の同楽団大分公演の 企画、運営
助教授 石山 聡	平成13年 7月 平成14年 8月 1日 平成15年 8月26日 平成15年 1月18日	ドイツ国ハンブルク市立コンセルヴァトリウム、インターナショナル・ サマーアカデミーにて作曲家モーリス・ラヴェルのピアノ作品について の講演 日本クラシック音楽コンクール関東地区茨城予選ピアノ部門審査員 日本クラシック音楽コンクール関東地区東京予選ピアノ部門審査員 音楽教育者連合会グレード特別審査員
助教授 川瀬麻由美	平成15年 8月19日 平成16年～現在	大阪国際音楽コンクール審査員 ゼーレ（芸短OBオーケストラ）管弦楽団顧問

<国際文化学科>

職・氏名	年月日または期間	内容（講演の演題、主催等：外部の委員、審査員等）
教授 吉良國光	平成 4年～平成15年 平成 7年～現在 平成14年～現在 平成15年	大分県先哲史料館史料鑑定委員 大分県先哲史料館史料調査委員 福岡県教育委員会「五ヶ山ダム関係文化財調査指導委員」 大分県野津町「町づくり検討委員会」アドバイザー
教授 上野正二	平成14年 2月1日～現在 平成16年 5月～現在	大分地方社会保健医療協議会委員 聖マリア学院短期大学評議員
教授 入野賀和子	平成15年 2月 7日	講演「ジェイン、オースティンの小説世界：紳士と淑女の物語」 西部女性セミナー（大分市大分西部公民館）
助教授 大橋絵理	平成15年 5月20日 平成16年 5月18日 6月15日	パリ修学旅行事前研修会の講師（附属緑丘高校） パリ修学旅行事前研修会の講師（附属緑丘高校）
助教授 崎谷憲洋	平成14年～平成15年	NHK視聴者会議委員（大分放送局）
講師 伊藤泰信	平成15年 4月 1日～現在	国立民族学博物館共同研究員

<情報コミュニケーション学科>

職・氏名	年月日または期間	内容（講演の演題、主催等；外部の委員、審査員等）
教授 凍田和美	平成12年～平成14年 平成15年 8月～11月 平成15年 9月 平成15年 4月～11月 平成12年～平成13年 平成14年～平成16年	教科「情報」現職教員等講習会講師 大分市視聴覚センター施設運営検討委員会委員長 大分県職員ポータルシステム開発業務委託技術審査委員会委員 大分市地域情報化懇話会副会長 （財）ハイパーネットワーク社会研究所特別共同研究員 （財）ハイパーネットワーク社会研究所研究企画部長
教授 吉良伸一	平成 7年 9月～現在 平成13年 9月～現在	大分県生涯教育センターマスターズコース「人間関係」専任講師 日本社会分析学会編集委員
助教授 吉山尚裕	平成11年10月 1日～現在 平成14年 5月11日～現在 平成15年12月18日～現在 平成11年～現在 平成11年～現在 平成12年～現在 平成12年～現在	大分県社会福祉協議会 福祉権利擁護事業・大分県運営適正化委員会委員 大分県明るい選挙推進協議会委員 大分県立病院倫理委員会委員 大分県社会福祉介護研修センター「社会福祉従事者中堅職員研修会」講師 大分県生涯教育センター・マスターズコース「人間関係」講師 大分県明るい選挙推進協議会・大分県選挙管理委員会 「大分県明るい選挙推進の集い」講師 国土交通省九州地方地方整備局「監督者研修」講師
助教授 坂口桂子	平成13年～平成15年度 平成11年11月～現在 平成13年 3月～ 9月 平成13年 7月 ～平成14年5月 平成14年 6月～現在 平成13年12月 ～平成15年11月 平成14年 4月～現在	大分県生涯教育センター 大分県婦人大学校講師 福岡県職業能力開発審議会委員 福岡地方職業安定審議会委員（法律改正に伴う審議会廃止） 大分県男女共同参画懇話会委員 大分県男女共同参画審議会委員 大分県同和对策審議会委員 大分労働局雇用均等行政協助力員
助教授 藤田 文	平成11年～現在 平成11年～現在 平成14年 6月14日 平成15年 7月 2日 平成15年 7月14日	大分県生涯教育センター 「乳幼児すこやかテレフォンサービス」電話相談特別相談員 大分県生涯教育センター・マスターズコース「人間関係」講師 国見町立公民大学高齢者教室国見生涯学習センターにおける講演 「コミュニケーションと心のはたらき」（「みんなかん」ホール） 大分県立幼稚園PTA指導者研修会における講演 「子どもの心に寄りそって」 王子地区PTA指導者研修会における講演 「リーダーとして一子の心・親の心」（西部公民館）
助教授 水上英徳	平成14年 9月10日 平成14年 9月26日 平成15年 3月25日 平成16年 5月～現在	「ドイツにおける農泊の現状」大分県グリーンツーリズム研究会農泊研 修会にて講演 「今後の地域振興に対するグリーンツーリズムの役割について」 山香グリーンツーリズム研究会設立総会にて講演 「中山間地域の活性化策について」野津原町商工会地域活性化講演会 NPO法人大分県グリーンツーリズム研究会顧問
助教授 別府三奈子	平成16年 5月	第7回ゆふいん文化・記録映画祭にボランティア（研修）で参加
助教授 吉岡 孝	平成16年 6月20日	ロボメック2004優秀講演ノミネーション評価委員
助教授 高橋義人	平成11年～平成14年	九州管区行政懇談会委員
講師 柴田雄企	平成14年～現在 平成14年～現在 平成15年 4月 ～平成16年3月 平成16年 3月21日	大分県スクールカウンセラー 大分県生涯教育センター・マスターズコース「人間関係」講師 九州大学大学院人間環境学府附属発達臨床心理センター 発達相談部門研究員 平成15年度大分県介護福祉士会第5回研修会 「高齢者や障害者との上手な関わり方」

<一般教育>

職・氏名	年月日または期間	内容（講演の演題、主催等；外部の委員、審査員等）
教授 貞包博幸	昭和62年 8月 ～平成14年3月 平成9年12月～現在 平成13年 4月 ～平成15年3月 平成14年 4月～現在 平成15年 2月～現在 平成16年 2月	大分県立芸術会館作品収集委員会委員 アート・プラザ運営委員会委員 竹田市立歴史資料館整備検討委員会委員 大分県立芸術会館美術資料収集委員会委員 大分市美術館協議会委員 『南画の里づくりと田能村竹田美術館シンポジウム・コーディネーター』 (竹田市総合社会福祉センター)
教授 染矢正一	平成14年11月	異文化理解のための講義 (文科省の豊かな体験推進事業指定校である大分高校にて)
教授 佐藤淳介	平成13年 8月5日～7日 平成 5年～現在	大分県教育職員免許法認定講習講師 大分県社会福祉介護研修センター講師
助教授 洲 雅明	平成13年 4月 1日～現在 平成10年 1月～現在 平成16年10月23日及び 12月11日 平成 8年11月～現在	大分県水泳連盟理事(水球委員長) (財)日本水泳連盟 水球委員会 技術部及び外国部委員 (財)日本水泳連盟主催 平成16年度 水泳C級コーチ研修会講師 日本赤十字社 救急法・水上安全法・雪上安全法指導員
助教授 高瀬圭子	平成13年 4月 ～平成15年12月 平成13年 4月～現在 平成15年 7月～現在 平成16年 4月～現在 平成16年 6月～現在 平成16年12月21日	駅南まちづくり会議委員 別大国道景観整備検討委員会委員 大分駅駅部景観検討委員会委員 おおいた都心まちづくり会議委員 戸次本町修景整備専門委員会委員 「まちづくりフォーラム2004」パネリスト
講師 加藤千恵子	平成14年 3月 ～平成15年4月	山下医院(心療内科)カウンセラー

表8-2 教員の国際的活動状況（平成13年度～現在にいたる海外研修、国際会議出席等）

<美術科>

職・氏名	年月日または期間	内容（国際会議名と発表演題、開催地：海外研修先と目的）
助教授 原田裕明	平成13年 7月26日 ～8月2日 平成14年 7月28日 ～8月6日	中国仏教美術研修 チベット仏教美術研修
教授 根之木英二	平成13年 5月	第20回日韓デザイン交流展出品 於：ソウル市立美術館（社団法人大韓産業美術家協会主催）
助教授 久保木真人	平成14年 3月	NCECA2002（カンサスシティ）日本における陶芸教育と作品 （スライド発表）

<音楽科>

職・氏名	年月日または期間	内容（国際会議名と発表演題、開催地：海外研修先と目的）
助教授 河野敦朗	平成14年 8月15日 ～26日	海外研修（オーストリア・ザルツブルグ・ウィーン） ザルツブルグ音楽祭研修及びソルフェージュ調査研究
教授 若松啓子	平成13年 3月28日 ～4月10日	ドイツ・東西ドイツ統一後の音楽大学の現状
助教授 釈迦郡誠	平成15年 3月25日 ～4月5日	研修先：ハンガリー ハンガリーの音楽環境を視察（ブタペスト音楽祭出席）

<国際文化学科>

職・氏名	年月日または期間	内容（国際会議名と発表演題、開催地：海外研修先と目的）
助教授 大橋絵理	平成15年12月20日 ～30日 平成16年 8月 7日 ～16日	フランス ルーアン・ナント大学図書館などで資料収集 香港 「国際比較文学会」発表（Deux Salomes,chez Flaubert et chez Wilde）
助教授 鄧 紅	平成14年 8月 平成15年 8月～ 9月 平成16年 3月 平成16年 3月	中国北京外国主要大学「2001年東亜漢学国祭学識」に出席、「壬充の頌漢論」で発表 シンガポール、中国広州、武漢、台湾で1ヶ月程度の研修 シンガポール、中国広州、武漢、台湾で1ヶ月程度の研修 中国湖水、江西省で開催された第1回陸象山国際学会に出席、「陸象山と董仲舒」で発表
助教授 晴谷憲洋	平成13年 4月～ 5月	国際ロータリー財団交換研修プログラムのメンバーとして、ポルトガルにおいて研修
講師 伊藤泰信	平成14年11月23日	学会発表 "On Maori Studies as a discipline and its differentiation " Annual Conference 2002, Association of Social Anthropologists of Aotearoa New Zealand Massey University, Auekland.

<情報コミュニケーション学科>

職・氏名	年月日または期間	内容（国際会議名と発表演題、開催地：海外研修先と目的）
教授 凍田和美	平成14年 3月10日 ～21日	指定研究・国外研究 「東南アジアにおける情報教育ネットワーク環境の調査」
助教授 水上英徳	平成12年 7月28日 ～13年9月30日	ドイツ、フランクフルト大学にて海外研修 （現代ドイツの社会理論、社会思想の理論研究と現代ドイツの地域作りの研究）
助教授 別府三奈子	平成15年12月中旬～下旬	（学外指定研究第2号）東欧・歴史博物館等の資料構成データー化のためのフィールド調査
助教授 高橋義人	平成14年10月 ～平成15年7月	在外研修 The University of Chicago, Department of Political Science, Center for East Asian Studies

<一般教育>

職・氏名	年月日または期間	内容（国際会議名と発表演題、開催地：海外研修先と目的）
教授 貞包博幸	平成15年 7月21日 ～8月14日	ドイツ及びウィーンに近代芸術運動の現地視察調査及び関係資料収集
教授 染矢正一	平成14年 8月	資料収集にバリ島訪問（視聴覚教材作成のため）
教授 佐藤淳介	平成14年 2月 平成14年 7月～ 8月	フランスにおいて教育史関係資料調査 イギリス・フランス・スイスにおいて教育史関係資料調査
助教授 洲 雅明	平成14年 9月27日 ～10月3日 平成15年 7月10日 ～7月29日	釜山アジア大会 日本水球チームサポートスタッフ バルセロナ世界選手権 日本水球チームサポートスタッフ
助教授 高瀬圭子	平成14年 8月	ドイツ（ドレスデン）において語学研修及び神聖ローマ帝国史関係資料収集
講師 加藤千恵子	平成13年 3月	"The Fourier Wavelet Transform Method for the Extraction of Facial Expression" Proceedings of the 3rd Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing Outrigger Wailea resort Hotel（米国）にて発表

資料12-1

大分県立芸術系大学構想に関する報告書 - “芸術文化の時代” 21世紀にふさわしい芸大をめざして -

1. 基本理念

芸術文化を通じて、自然と社会、人間が調和した新たな時代の創造に寄与する、地球的な視野と芸術的な素養、感性をもった多彩な人材を育成するとともに、芸術文化の発信拠点となる大学を目指す。

2. 大学の基本的方向

生活にゆとりや本当の豊かさが求められる時代となり、今日ほど国民の芸術文化への関心が高まっている時はない。しかし、その一方でわが国の芸術高等教育は、従来からの芸術至上主義的な価値観が大勢を占めており、現代の社会的ニーズに必ずしも十分に対応しきれていないのが現状であろう。そこで、既存の芸術に加え、現代社会の動向に深く関わっているポピュラー・アートや新しいメディアの出現により生み出された新しい芸術などを包括する概念を「芸術文化」として定義づけることとし、これからの芸術高等教育はこの芸術文化を対象として、より実社会や日常生活、市民感覚さらには産業とも結びついたものへ、その本来の姿へと立ち戻る必要があると考える。このため、新しい芸術系大学は、短期大学35年の伝統は受け継ぎつつも、在来の芸術大学が成しえていない次のような特色をもつ大学を目指すものとする。

(1) 感性教育、基礎教育を重視した大学

芸術は感性をベースにしたものであるが、教育がややもすると技術や知識偏重に陥りがちであることを踏まえ、自然や人や過去の生き方、伝統的な文化の美しさなどを学び愛することにより、豊かな人間性を基調とした美しい感性を醸成する教育を目指すこととする。また、芸術は生涯を通じて完成を追い求めていくものであり、ある意味で永遠に完成のない世界ともいえる。このため、新しい芸術系大学では、芸術を生涯に及んで学んでいくための基本となる教育を重視することとする。

(2) 現代芸術の動向に応じた芸術教育を推進する大学

現代における芸術動向は、伝統的な各領域の枠組みを超えて複合化、総合化し、さらには先端的なメディアを加えながら、急速に多様化しつつあり、また芸術そのものの意味も拡大してきている。このため、こうした現代の芸術潮流に積極的に対応した芸術教育を推進するものとする。

(3) 芸術分野のみならず、芸術関連分野で活躍する人材も育成する大学

芸術の市民層への広がり、芸術そのものの領域の拡大、融合といったものに対応して、芸術分野のみならず、芸術関連分野で活躍する人材も育成する大学を目指すこととする。特に社会的ニーズの高い芸術文化と社会を結ぶアートマネジメントやアートプロデュースできる人材、拡大するコンピュータグラフィックス分野や音楽ビジネス分野で活躍する人材などの新しい人材を育成する。

(4) 地域に開かれ地域に貢献する大学

今日、大学は社会と無縁でありえず、特に公立大学は地域社会との密接な関係が求められている。こうした社会的要請に応えるため、開かれた大学として地域と連携し地域に貢献していく大学を目指すこととする。そのため、例えば県内の他大学、試験研究機関との共同研究をはじめ文化施設や企業等と連携した教育研究活動を積極的に行うものとする。また、情報化に対応したコンピュータグラフィックス教育の充実を図ることにより地域の産業振興にも寄与する。さらに、大学施設を広く県民に開放するほか地域社会への様々な提案や社会人への生涯学習の支援、巡回展、巡回演奏会、過疎地域への工房設置などにより地域に貢献していくものとする。

(5) 国際化に対応した大学

これからの国際化社会において国際的芸術文化交流を十分に担いうる幅広い人材の育成を目指すこととする。このため、外国人教員や留学生の受入れ、留学制度や教員の海外派遣等による海外の芸術系大学との教育研究における交流を積極的に推進する。また、九州アジア共生の観点からアジアにおける芸術文化の教育研究を重視するとともに、例えばアジア彫刻展受賞者など、アジアの芸術家との交流拡大を図るものとする。

3. 学部学科等

(1) 学部構成等

- ・「芸術学部」及び「短期大学部」を設置する。また、学部の充実に合わせて「大学院」の設置を検討する。
- ・大学の理念を達成するため、「芸術学部」と「短期大学部」の連携交流を密にするものとする。

(学部・学科等の構成)

大学院

芸術学部 (140人)

美術学科 (25人)

平面造形コース

立体造形コース

芸術表現学科 (70人)

情報デザインコース

アートマネージメントコース

音楽表現コース

音楽学科 (45人)

声楽コース

器楽コース

短期大学部 (200人)

国際文化学科 (100人)

コミュニケーション学科 (100人)

注) 学科・コースの名称は仮称である。

学科・コースの構成、入学定員等については変更がありうる。

(2) 学部等の内容

①芸術学部

新しい芸術潮流に対応して新設する芸術表現学科及び短期大学35年の伝統を受け継ぐ美術学科と音楽学科を設置する。

各学科・コースが連携しあうことにより、学生の関心に応じて多様な教育を可能とするとともに、教員の相互補完を図る。また、それぞれの特色を持った各コースが交流融合し、触発し合うことにより、大学全体としての活力を生み出すことを期待する。

[美術学科]

美術学科では、実技教育を中心に行い、併せて芸術文化の歴史、理論の総合的な教育研究を行う。

現代の芸術環境は、従来の枠組みでは捉えきれないほど領域が交錯し、かつ拡大しているこの現状を踏まえ、本学科では造形表現の基本は制作者と素材との対話から生み出されるものであるとの認識のもとに、基礎教育期間においては、油画、日本画、版画、彫刻、工芸（金工・陶芸・染織等）及びコンピュータアートなどの多様な表現媒体、素材の基本的な特性を幅広く体験することにより制作の基本姿勢と感性を身に付けさせる。

また、専門教育期間においては、平面造形コース、立体造形コースに分かれて、より専門的な技法や材料を学ぶとともに作品制作を中心とした研究を行うことにより、多岐にわたる現代美術の諸相に着実、柔軟に対応し得る創造性、人間性豊かな人材を育成する。なお、教員免許も取得できるものとする。

・平面造形コース

本コースは、油画、日本画を基本として版画など2次元表現全般の教育研究を行う。

フレスコ、モザイク、テンペラ、水墨などの東西の伝統的な技法や材料を学ぶとともに歴史的考察を裏付けとして、平面造形表現の構造、現代における造形表現に対する意識を養う。

・立体造形コース

本コースは、塑像、整彫を基本としてインスタレーションなど3次元表現全般の教育研究を行う。

粘土、木材、石材、樹脂、金属、布、紙などの素材の特性、技法等について、より専門的に学ぶとともに歴史的考察を通じて、立体造形表現の構造、現代における造形表現に対する意識を養う。

[芸術表現学科]

わが国のようにいま成熟期に向かいつつある経済社会では、これまで一般に“芸術”と呼ばれてきた人間活動の比重が、生産・消費両面において格段に高まりつつある。そして、その内容も、各種芸術表現形式の創造と融合をくり返しながら充実をつづけ、かつ複雑化していく。

こうした時代的趨勢を見据え、本学科では、教育の領域を、主として近代西洋の“正統派”美術および音楽の成果に立脚してきたわが国の伝統的芸術教育の枠外に放ち、芸術的資質と関心をもちながら従来の芸術系学部の学生が一般に目指さなかった芸術関連分野で活動する人材を計画的、組織的に育成する。

・情報デザインコース

情報デザインとは、高度情報社会における多様な情報をデザインという創造的発想により、人間生活にとって価値あるものにする活動である。近年情報通信技術の急速な発達に伴い、印刷などのグラフィックデザインや写真などの映像デザイン分野ではデジタル化が進み、両者が融合化するなかで、デジタルデザイン教育の重要性は一段と高まりを見せている。

本コースは、こうした社会的趨勢を凝視しつつ、新しい時代が求めている構想力豊かな、かつ広い視野をもつデザイナーの育成を目指す。そのためには、デザイナーとしての資質がテクノロジーの進歩に圧倒されることにならないよう、実際に手や体を動かしたり、自然を観察して表現するといった基本的なものづくりを通して、形や色に対する感性や創造性を磨くことを、とくに教育上重視する。

・アートマネジメントコース

生活の文化化が進む中であって、多様化した芸術文化と社会を結びつけコーディネートできる人材が求められている。

そのため、本コースでは、芸術文化活動の企画・運営を行うアートマネジメントの体系的教育を行い、幅広い芸術的素養と専門性を身につけた芸術関連分野における多彩な人材を育成する。

芸術科目、アートマネジメント（芸術企画運営）科目及び英語を中心とした外国語を柱とし、美術、音楽に舞台芸術を加えて芸術を総体として考察する。

入試には基本的に実技試験を課さず、芸術文化への深い情熱と理解を持つ人を受け入れるものとする。

・音楽表現コース

パソコンやファミコンのゲームソフトに典型的にみられるように、音楽はもはや映像と切り離しがたく結び付いて、ひとつの新しい芸術表現形式を生みだしている。その音楽もいわゆる“クラシック”とか“ポピュラー”といった分類が意味をなさないほどに複雑多様化してきている。

本コースは、音楽的才能に恵まれ、音楽に強い関心を抱きながらも、その趣味と人生計画の点で在来の伝統的な音楽教育になじまぬ若者を対象として設置され、ジャズ、ロック、フォークソング等のクラシック以外の音楽分野で活躍するアーティストを育成することを目的とする。

教育研究にあたっては、特に①映像その他のメディアとの連携、②コンピュータ及びコンピュータネットワークを中心とする新しいテクノロジーと音楽との連携を重視する。

〔音楽学科〕

本学科は、県立芸術文化短期大学の伝統を受け継ぎ、主として伝統的な西洋音楽に重点を置

き教育を行うが、現代の音楽創造の多様化に対応し、新しい音楽分野も視野に入れる。

各コースとも基礎教育と実技教育を充実し、特にアンサンブル教育の拡充を図る。また、子供の音楽教室等により、必要性が叫ばれている幼児、小学生などを対象とした音楽指導法の教育にも力を入れる。なお、教員免許も取得できるものとする。

卒業後は、音楽指導をはじめ、演奏活動、企業等への就職など、習得した音楽芸術の能力を社会の多方面の分野で発揮する人材の輩出が期待される。

・声楽コース

本コースは、声楽についての基本的実技と理論の教育を行うとともに幅広い教養科目を学ぶことにより、音楽芸術の習得と豊かな人間性を養う。

また、学生個人の個性に適した指導により、優れた音楽人としての基礎的技能を滴養する。

・器楽コース

本コースは、ピアノ及び管弦楽の2分野に分かれ、音楽に関する幅広い知識と演奏技術を学ぶとともに各専攻分野の演奏技術を高め、優れた音楽人としての資質を身につける。

ピアノ分野では、独奏だけでなく連弾重奏、室内楽等を学ぶことにより幅広い演奏形式を経験させる。

管弦楽では、オーケストラを核にした種々の室内楽等の実習教育を行い、アンサンブルの能力養成を図る。

②短期大学部

本学に短期大学部を併設する。短期大学部は、県立芸術文化短期大学の国際文化学科、コミュニケーション学科が移行し、2学科で構成する。

③大学院

時代の要請に応え、より専門的な知識、技能を有する人材の育成や芸術分野のより高度の学術研究を行うため、学部の充実に合わせて大学院（修士課程）の設置を検討する。

4. 教育・研究の特色

(1) 3学科の連携、融合を考慮した教育・研究の推進

「美術学科」「芸術表現学科」「音楽学科」の3学科で構成されていることの特性を生かし、各学科・コースが連携、融合することによりコンテンツ制作などの共同研究等多様な教育研究活動を推進する。

教育にあたっては、幅広い芸術的素養を持った人材を育成するため、専門性と総合性が融合したカリキュラムの編成に留意する。また、学科の枠を越えた教員の相互乗り入れや共通授業など学科間の連携を密にする。

(2) 学生の関心に応じた多様で柔軟な教育の推進

多彩な人材を育成するため学生の関心に応じた多様で柔軟な教育を行う。このため、教育科目も必須科目を最小限に絞り、選択科目を多様化し、学科・コースを超えて履修できることとする。

また、学生の適性や能力、関心を極力尊重する観点から入学後においても学科・コースの変更を可能にするものとする。

このため、学科を越えて横断的に基礎科目、選択科目を設けるなど、学科・コース間の変更を可能とする教育科目の編成に配慮する。

(3) 地域の特性を生かした教育・研究の推進

臼杵や国東地方の仏教芸術、西欧古典音楽、木竹工芸など本県の歴史的、地域的特性を生かした教育研究を行うとともに西日本における芸術文化の拠点として各種文化施設等と連携した教育研究活動を推進する。

(4) チュートリアル (tutorial) 活動の推進

共通の関心や興味を持つ教員と学生が、学科・コースに関係なく授業を離れた自由な立場で集まり、ひとつのテーマを研究することにより、自主性や幅広い視点を身につけさせる。

5. 教員及び教員組織

(1) 教員の確保

教員の確保にあたっては、教育研究実績はもとより、教育に対する情熱と人間性を重視する。

また、大学、研究機関だけでなく、最前線で活躍している企業等の研究者、芸術家など優秀な人材も対象とするとともに外国人の任用にも努める。

さらに、さまざまな分野の第一線で活躍する芸術家、研究者等を積極的に客員教授として招へいするものとする。

(2) 教員組織

3学科の連携を図り、特色ある教育研究を展開するため、学科を越えた教育及び研究が可能となるよう、弾力的な教育研究組織とする。

6. 附属施設

(1) マルチメディアセンター (仮称)

映像や音楽など多面的な芸術分野を包含するマルチメディアの進展に対応するため、CG用コンピュータやシンセサイザーなどの各種電子機器類やスタジオ設備等を一元的に管理、提供する総合情報拠点施設として整備し、学生が学科・コースにとらわれずに利用できるようにするとともに、企業との交流の窓口とする。

(2) 総合芸術文化センター (仮称)

アジアの芸術文化を認識し、日本の伝統芸術を見直すため、総合芸術文化センターを設置し、日本及びアジア各地域の特色ある芸術文化を系統的、体系的に研究するとともに、芸術性の香りの高い交流を進め、アジアへ向けての芸術文化の発信基地とする。

(3) 附属図書館

専門図書館としての特色づくりを行うとともに、オンラインネットワーク化を図り、県立図書館、他大学図書館等との連携を推進する。

7. 附属高校

附属緑丘高校との交流を拡大するとともに、教育実習校としての充実を促進する。

8. 入学者選抜

創造力に富んだ人間性にあふれる学生を確保するため選抜方法の工夫を行う。学科・コースによっては専門実技試験を課さないなど入学者の個性や資質、意欲等にも配慮した選抜方法を検討する。

推薦入学、編入学制度を導入するとともに、社会人、外国人留学生の受入れについても積極的に検討する。

9. 管理運営体制

(1) 教授会等

芸術学部、短期大学部にそれぞれ教授会を置くほか、全学的な見地から管理運営に関する事項について調整を行う連絡調整機関を置く。

(2) 事務局組織

芸術学部と短期大学部の事務管理部門を一元化するなど、効率的な事務組織とする。

(3) 参与会（仮称）

「開かれた大学」として、広く社会の意見を大学運営に反映させるため、学識経験者、地域社会の関係者などによる助言機関を設置する。

10. 設置場所

現在地（大分市上野丘）とする。

11. 校地及び施設整備

(1) 校地

将来の大学の発展や、大学における教育研究活動に配慮し、隣接するあけぼの学園跡地を含めるなど、必要な面積を確保する。

(2) 施設整備

現有施設は老朽化が進み、また必要とされる面積が確保できないため、基本的には新たに建て替える必要がある。また、整備にあたっては緑を多く確保するなど周辺環境に配慮するとともに芸術性を考慮に入れた施設とし、魅力ある大分のまちづくりに寄与することが望ましい。

教室、教員研究室等については、芸術教育の特殊性に配慮した構造にする。

さらに、施設の建設は現短期大学の運営をしながら、限られた敷地の中で行わなければならないため、段階的に実施する必要がある、効率的な再配置計画を策定するとともに、在学生の学業にできるだけ支障のないように配慮する。

12. 大学名称

大学の理念、特色を勘案し、また人文系の短期大学部を併設することを考慮に入れて名称を検討する必要がある。

一例として「大分県立芸術文化大学」が考えられる。

13. 開学時期

本構想の趣旨を達成するため、可能な限り早い時期に開学する。

14. 県立短期大学の取扱い

(1) 大分県立芸術文化短期大学の廃止

大分県立芸術文化短期大学は、大分県立芸術系大学及び同短期大学部に発展的に移行することとする。

(2) 廃止の時期

大分県立芸術文化短期大学は、上記に伴って、大分県立芸術系大学及び同短期大学部の開学年度の学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。